

生活のなかで
いちばん身近な
食について
考えてみませんか？

写真：眞田一廣さん(くまもと有機の会)

九州農政局チャレンジチーム編

やさしい たべもの

環境にやさしい農産物ガイドブック

Challenge Team

Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
Kyushu Regional Agricultural Administration Office

なぜ環境にやさしい農産物を
生産・販売するのか。

取材を通じて見えてきたその理由は、
子どもや家族を思う気持ちです。

誰かを思う気持ちが
その根底にあるのではないかと考え、
このガイドブックのタイトルを
「やさしいたべもの」にしました。

「やさしいたべもの」は、
九州農政局チャレンジチームが
環境にやさしい農産物を販売・生産する
九州各地の店舗・生産者を取材する中で、
実際に見たこと・聞いたことを中心に、
店舗や生産者の情報をお届けするガイドブックです。

九州農政局チャレンジチームとは？

農林水産省の地方組織である九州農政局に勤務する
若手職員で構成され、農業の抱える課題の解決に向け、
若手ならではの視点から「挑戦(チャレンジ)」
しているチームです。農業に触れる機会の提供や
SNSでの情報発信により、農業の魅力を消費者の
方々に広く知っていただくことを目指しています。

やさしい たべもの

環境にやさしい農産物ガイドブック

熊本県版

店舗

生産者

石本信博さん → 13ページ

富田親由さん → 14ページ
菊池市

元永光輝さん → 17ページ
菊陽町

畑まるごとマーケット有機生活 → 3ページ
バイオ天粧 錦ヶ丘 → 5ページ
オーガニックはあと湖東店 → 7ページ
熊本市

丹生幸宏さん → 9ページ
西原村

眞田一廣さん → 11ページ
外本耕平さん → 12ページ
御船町

森下好寛さん → 10ページ
氷川町

飯星淳一さん → 15ページ
井上正さん → 16ページ
山都町

畑まるごと マーケット 有機生活

店舗



元代表の松下修さんは衣食住のコンサルティング事業を本業としており、2010年頃に土地利用についての相談を受けました。

当時、近所に有機栽培を行っている農家さんは多かったものの、有機農産物を取り扱う直売所がなかったことから、有機農産物直売所の設置の提案を行いました。それが『畑まるごとマーケット 有機生活』の始まりです！

色々と苦勞する点もありましたが、看板やウェブサイトを工夫するとともに、自然の恵みを生かした食の提供などに取り組み、地域のお客様に笑顔を届けています。

商品は、環境に配慮して生産された農産物が多く、調味料や飲料品なども目にすることがないものが綺麗に陳列されていました。なんと、農家さんが実際に陳列に来られているとのこと！

現在は息子さんへ引き継がれ、新たな体制で『畑まるごとマーケット 有機生活』を運営されています。

店舗情報



所在地

〒862-0916
熊本県熊本市東区
佐土原2丁目4-20

営業時間

10:00～18:00

店休日

なし
お正月休み等不定休を除く

電話番号

096-365-3910

駐車場

あり(約20台)

取扱商品

野菜、米、果実、調味料
缶詰、乾麺、レトルト食品
加工飲料品、畜産食料品



化学農薬・化学肥料の不使用
レベルの表示や手書きのポップ、出荷されている農家さんからのメッセージなどで商品の特徴が分かりやすく説明されていて、自分好みの商品を選んで買うことができます！



店内は木材を基調とした作りで
温かみがあります

てんしょう バイオ天粧 錦ヶ丘

店舗



店主の福山曉三さんのお父様は50年以上前からオーガニック食品を愛用されており、曉三さんはオーガニック食品の入手の難しさや専門店の必要性を実感されていました。

そこで、2007年、bio(命)の「バイオ」、天然の「天」、化粧品等の小間物屋だったことから「粧」を組み合わせて『バイオ天粧』をオープンされました。

曉三さん自身も有機農業の経験があり、熊本県有機農業研究会の一員として有機農業の推進と新規就農者の支援にご尽力されています。

店内の野菜は、時期によっては県外からも仕入れていますが、なるべく熊本県産にこだわっています。毎日使う調味料は特にこだわって仕入れられており、お菓子類も種類が豊富です。

お客さまの中には、リピーター歴が数十年になる方や親子代々にわたって通われている方もいるとのこと。また、ご近所の保育園へ給食として野菜を提供しているほか、園児の稲刈り体験などの食育も実践されています。

店舗情報



所在地

〒862-0912
熊本県熊本市
東区錦ヶ丘14-16

営業時間

月～金 10:00～18:30
土・祝 10:00～18:00

店休日

日曜日(祝日は営業)

電話番号

096-374-6786

駐車場

あり (5台)

取扱商品

野菜、米、調味料、缶詰
乳製品、レトルト食品、菓子類
加工飲料品、畜産食料品



「これからの社会を担う子どもたちのために、生産者が来年も農産物を作り続けられる価格設定で買い取り、お客様に手軽に商品をお買い求めいただける店として、イベントだけでなく日常の食生活も大切にしていきたい」という思いを込めて、毎月のお手製カレンダーを作成



商品のひとつひとつに
手書きのポップが！

オーガニック はあと 湖東店

店舗

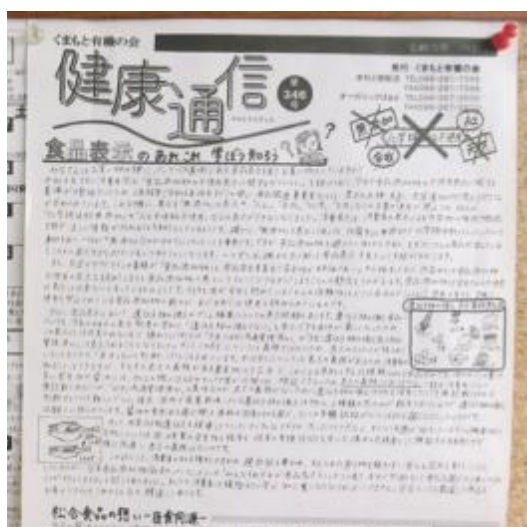


「オーガニックはあと」を経営する「くまもと有機の会」は、環境に配慮して生産された農産物の小売・流通業を営んでいます！

1962年、熊本県内の有機農産物の認知度を高め、重要性を知ってもらうための動きが始まったものの、有機農産物を購入できる店舗が少ない状況でした。そこで、1975年、有機農産物の産地直送を開始。生産者と消費者を繋ぐ活動を経て、1986年、「くまもと有機の会」が設立されました。

専務取締役の田中さんは、有機農業に関する教育にも力を入れています。有機農業の学校「ORGANIC SMILE」の設立に携わり、副理事長兼講師として有機農業の講義を行っています。

お店は、集合住宅の1階部分にあり、賑やかでアットホームな雰囲気が感じられます！生鮮品から加工品まで「有機」「オーガニック」と表示された商品が揃っており、有機栽培理論や食に関する書籍も並べられています！



定期的に消費者・生産者・流通業者の3者で意見交換を行っており、それらの情報を「健康通信」という形で発信しており、より思いが伝わるように手書きで書くなどの工夫がされていて、人との繋がりを大切にされているのが伝わります



取材した日は
有機みかんの試食も
ありました

店舗情報



所在地

〒862-0909

熊本県熊本市東区湖東2丁目1-3

営業時間

平日 9:30～17:30

土曜日 9:30～16:30

祝日 10:00～16:00

店休日

水曜日、日曜日

電話番号

096-367-3500

駐車場

あり

第1駐車場4台、第2駐車場3台

取扱商品

野菜、米・麦、調味料

缶詰、乳製品、レトルト食品

加工飲料品、畜産食料品

菓子類、書籍など

たんせい ゆきひろ

丹生 幸宏 さん

生産者

タンセイファーム



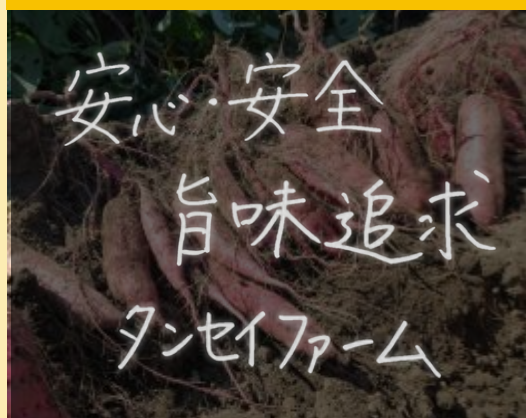
熊本県西原村で農業を営む丹生さんは「体にいいものを食べてもらいたい」と考え、農薬や化学肥料に依存しない丹精込めた栽培を行っています。

さつまいもはマルチシートだけで育てているため雑草が生えやすく、ピーク時は朝夕の草刈りが大変とのことですが、美味しいさつまいもができるそう。畑付近には除草した草や枯葉に太陽光を1年以上浴びせて発酵させた自家製肥料の山が点在しています。

「自分は特に安心と安全にこだわって、収量が減っても有機栽培で作り続けたいが、色々な農業の在り方が認められていい」と丹生さんは語っていました。

最近は「もったいない精神」から自然環境や既存施設・設備の利用を考え、水温が一定なスイゼンジノリの養殖場の活用や、半日陰を好む植物の栽培や育苗などのために栗の木等の日陰の利用などに取り組んでいるとのことでした。

生産者からのメッセージ



生産品目

さつまいも、栗、ブルーベリーなど
年間約40種類以上

販売先

畑まるごとマーケット有機生活(熊本市東区)や熊本市・御船町のスーパー

アカウント

@tanseifarm (Instagram)

もりした よしひろ

森下 好寛 さん

生産者

森下農園



生産者からのメッセージ



森下さんは、幼少期から自然と近い仕事に興味がありました。また、学生の頃から環境問題への意識が高く、氷川町で環境に配慮した農業に取り組むことを決めました。

地中の栄養を保つため、一毛作（同一耕地で1年間に1回のみ作物を生産すること）にこだわる森下さん。

子どもにも美味しく・安全な食事を提供したいという思いから、工夫をしながら有機農業を続けています。多くの方に有機農業を知ってもらうためにも、食育に取り組んでいます。

「インターネット上だけのつながりでは距離があるように感じるので、対面での交流も大切にしたい。」と語ってくださった森下さん。

農作業だけに終わらない、心にかかる食育は、しっかりと届いています。

生產品目

うるち米（8種類）、もち米
レンコン、はすの花

販売先

畑まるごとマーケット有機生活（熊本市東区）、
バイオ天粧 錦ヶ丘（熊本市東区）

まなだ かずひろ

眞田 一廣 さん

生産者

くまもと有機の会



生産者からのメッセージ



熊本県山都町で農業を始めた眞田さん。「自分たちが食べたいと思える安全なものをつくりたい」との思いから環境に配慮した農業に取り組まれています。農地は御船町、甲佐町にも拡大しています。

約4t/10aが全国平均収量(慣行栽培含む)の春にんじん。眞田さんの畑では5～6tほど採れた実績もあるそう！秘訣は「太陽熱養生処理」。中熟堆肥を使用し、ビニールシートを被せることによって太陽熱を利用します。土壌団粒のはたらきによって根を強くし、光合成能力を上げて有用性微生物を増殖させ、病気の発生を防ぎます。雑草を抑える効果もあるんです！

現在は小売・流通事業団体である「くまもと有機の会」の会長として熊本県の有機農業を先導しており、生産者のサポートだけでなく消費者との交流も大切にされています。

生産品目

にんじん、ほうれん草、さといもなど
年間約30種類

販売先

くまもと有機の会（野菜セットなど）

ほかもと こうへい

外本 耕平さん

生産者



生産者からのメッセージ



親御さんの代から御船町で環境に配慮した農業を行っていて、20歳で引き継ぎました。「天候に影響を受ける農業を行うことは大変ですが、多くの人が有機野菜を気軽に食べられるようにしたい」という思いを持って栽培されています。

就農16年目の現在、農地は約1.5haまで拡大し、外本さんが作るすべての野菜は環境に配慮して作られたもの。

外本さんも「くまもと有機の会」の出荷者の1人です。良質な土づくりのために徹底した土壌分析を行い、「太陽熱養生処理」を施しています。

また、「こうへいの御野菜」というYouTubeチャンネルも運営。農作業の基本を学べる動画から可愛いお子さんの癒しの声が入った動画まで、幅広いジャンルの動画を見ることができます。ぜひアクセスしてみてください！

生産品目

にんじん、ほうれん草、さといもなど
年間約30種類

販売先

くまもと有機の会

アカウント

こうへいの御野菜 (YouTube)

いしもとのぶひろ

石本 信博さん

生産者

いしもと自然農園



生産者からのメッセージ



石本さんは、熊本県菊池市で新規就農した時、40歳を過ぎていました。それでも、未来の子どもたちや健康を望む人々に安全な食を届けたいと環境に配慮した農業に取り組むことを決意されました。

石本さんが自然栽培に取り組む理由は、植物本来の力を引き出すためです。生育が遅れることもありますが、地道に待てば自然は生産者の思いに応えてくれることから、自然の力を信じることが大切だと語ります。

体験型自然農園では、地域の親子連れなどに農業体験の機会を年3回程度提供しています。また、田植え体験では、田植え網などは使用せず、自身の感覚を頼りに等間隔で植えるように教えています。便利な道具や機械にばかり頼り、感覚が鈍くならないよう、自己の感覚を鍛えるとともに、自然の力を信じることを大切にされています。

生産品目

にんじん、さつまいも、米
ヤーコンなど年間約60種類以上

販売先

ビオ天粧 錦ヶ丘(熊本市東区)、畑まるごとマーケット有機生活(熊本市東区)、直接販売(野菜セット)

アカウント

@nobuhiro_ishimoto(Instagram)

とみた ちかよし

富田 親由 さん

生産者



生産者からのメッセージ



熊本県菊池市で農業を始めた富田さんは、20歳の時に親元就農しました。

当初は、農薬や肥料を使用する慣行栽培をしていたそう。しかし、魚や虫の姿を見ることができる自然の中で育った富田さんは、その姿を見ることができなくなり、環境に配慮した農業に取り組むようになりました。

農薬・除草剤・肥料を使用しない自然栽培では、毎年非常に甘い人参やあっさりとして美味しいお米ができあがります。また、販売する農産物とは別に、自家消費する農産物を10種以上栽培しています。

世代交代によって販路や技術が途絶えてしまうことが現代農業の課題と考え、ご縁やノウハウを次世代に繋げていくことを大切にされています。

生産品目

にんじん、米、大豆など約10種類

販売先

ビオ天粧 錦ヶ丘(熊本市東区)、Root's Purely(熊本市中央区)、渡辺商店(菊池市)

いいほし じゅんいち

飯星 淳一

さん 飯星オーガニックファーム

生産者



生産者からのメッセージ



熊本県山都町で農業を始めた飯星さんは、幼いころから有機農産物を食べて育ったこともあり、有機農家をされていたお父さまのもとで就農されました。

飯星さんは、BLOF理論(※)の1つである「太陽熱養生処理」を行い、おいしくて栄養価が高い野菜をよりたくさん収穫できるようになったそうです！人参の大きさにバラツキがなくなり、収量も3倍近く増加、糖度も高い時には、9度を超えるようになったとか！

飯星さんがつくる人参は、人参特有の香りが少なく、人参が苦手な子ども「飯星さんのにんじんなら食べる！」と言ってくれるそうです。「小さな子どもからご年配の方まで、多くの人たちに美味しく食べていただけるような野菜づくりを追求していきたい！」と飯星さんは夢を語ってくださいました。

生産品目

にんじん、水菜、レタス
ミニチンゲンサイなど約10種類

販売先

くまもと有機の会

※BLOF理論(Bio Logical Farming)とは、直訳すると「生態系調和型農業理論」で、土壌を分析して科学的・論理的に営農する理論と技術のこと

いのうえ ただし

井上 正さん

生産者



生産者からのメッセージ



熊本県山都町で農業を営む井上さん。周辺地区では環境に配慮した農業に取り組む生産者が多く、井上さんも約40年間続けてきたそうです。美味しいお米の生産に励んでおられ、平成17年に有機JAS認証を取得されました。

ライスセンターを経営している井上さんは、ご自身のお米に加えて、地域農家のお米も受け入れ、乾燥、粳摺(もみすり)、選別、出荷を行っているため、地域貢献にも繋がっています。

「循環的な自然の理、有機的なつながり、微生物の多様性がある豊かな土壌環境の中で、美味しい作物が育つ。」と考え、土壌環境を整えるための研究にも熱心に取り組まれてきました。また、「先祖代々受け継いできた日本人としての営みを次世代へとつなぐこと」も大切にされています。

生産品目

米（ヒノヒカリ、くまさんの輝き）
黒毛和牛繁殖、原木椎茸

販売先

ビオ天粧 錦ヶ丘(熊本市東区)、個人販売、農協、結米屋(百貨店)、太陽食品(宅配など)

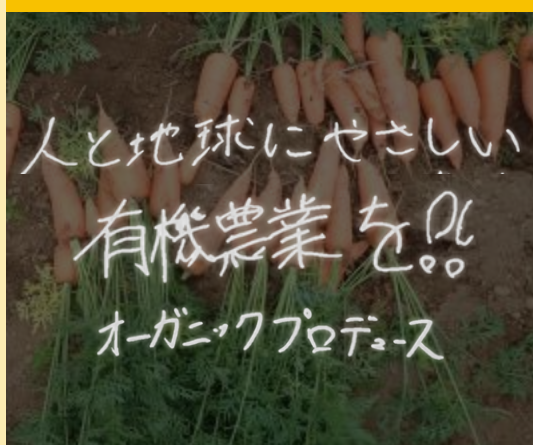
もとなが こうき

生産者

元永 光輝 さん オーガニックプロデュース



生産者からのメッセージ



元永さんは、熊本県菊池郡菊陽町で有機農業に取り組んでいます。

元々、流通業専門でしたが、生産者の思いをもっと理解したいと、生産にも携わるように。そのおかげで、生産者と対等にお話ができ、情報共有やアドバイスをし合える関係を築けています。現在は、家族一体となり、オーガニックにこだわり生産・流通に取り組んでいます。

流通業を営む強みを生かし、県外の生産者から学んだノウハウも取り入れ、阿蘇の火山灰からできた土(黒ボク土)も活用しながら、有機栽培に取り組まれています。

「『美味しい』と言って食べてもらえたら嬉しい。」と話す元永さん。「有機栽培だから形が悪くても仕方ない。」と思ってもらえることもありがたい一方、「有機栽培でもここまできれいなのか!」と感動してもらえる生産を目指されています。

生産品目

にんじん、ミニ白菜、ピーマンなど
年間6種類以上

販売先

関東・関西のスーパーやイオン九州

やさしい たべもの

環境にやさしい農産物ガイドブック

店舗

生産者

九州全県版

福岡

AND THE SOIL.(福岡市)
 おやさいや菜(福岡市)
 natural natural
 イオンマリナタウン店(福岡市)
 さちまる農園(朝倉市)

佐賀

ecobito(神崎市)
 めぐみの里(唐津市)
 サガンベジ(みやき町)
 ちぎりファーム(基山町)

オーガニック直売所 タネト(雲仙市)
 大地のめぐみ(諫早市)
 GREEN GROCERY STORE(長崎市)
 雲仙うららかファーム(雲仙市)

長崎

おいしい野菜の店 葉な果菜(大分市)
 かなわ六角ストア(別府市)
 量り売り からはな百貨店(大分市)
 ウジャマー農場(豊後大野市)

大分

畑まるごとマーケット 有機生活*
 ビオ天粧 錦ヶ丘*
 オーガニックはあと湖東店* *熊本市
 丹生 幸宏さん(西原村)
 森下 好寛さん(氷川町)
 眞田 一廣さん(御船町)
 外本 耕平さん(御船町)
 石本 信博さん(菊池市)
 富田 親由さん(菊池市)
 飯星 淳一さん(山都町)
 井上 正さん(山都町)
 元永 光輝さん(菊陽町)

熊本

野菜屋 宮丸商店(都城市)
 綾手づくりほんものセンター(綾町)
 マルイチ財光寺店(日向市)
 オーガニックファーム綾(綾町)

宮崎

地球畑 荒田店(鹿児島市)
 自然食品の店 やさい村(鹿児島市)
 森のかぞく 始良店(始良市)
 つるさね農園(日置市)

鹿児島

“JASマーク” を知っていますか？



JAS（日本農林規格）は、農林水産分野における日本の国家規格です。丸い形が特徴的なこのJASマークは、公正な第三者によって、JASに定められた基準を満たすことを認証された食品や林産物に付くマークです。

つまり、JASマークは、品質などの基準を満たすことの証明であり、商品選択や取引の際に役立つ信頼の証です。

JASについてもっと知りたい方はこちら
<https://www.maff.go.jp/j/jas/index.html>



問合せ窓口

農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 食品製造課 基準認証室
TEL：03-6744-2098 E-mail：jas_soudan@maff.go.jp



農林水産省

地球にやさしい目印です。



有機 JASマーク

詳細はこちら ▶



有機食品とは

農薬や化学肥料、添加物といった化学物質にできるだけ頼らず
環境に配慮して生産された食品のことです。



有機 JASマークとは

第三者機関から認証を受けた生産者や製造者により、国際的にも
通用する有機JASの基準に基づいて日々の管理が行われた証です。

農産物、畜産物とこれらの加工食品は、有機JASマークがないと
「有機」や「オーガニック」と表示できません。



MAFF
Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries
農林水産省

学生参加型プロジェクトAGREAL



農業の魅力発信や理解の醸成のため
農産物の生産から消費までを網羅して体験・見学する
九州農政局チャレンジチーム主催の学生参加型プロジェクト

第
1
弾

『れんこん』の
収穫・加工・消費体験で
農業の『これからを見通す』

@ 株式会社
ナカドモファーム

2024
11.26(火)
27(水)

第
2
弾

『柑橘』の選果場見学で
『流通のこれから』を考える

@ 熊本市西区河内町
JA熊本市柑橘選果場
ウシジマ青果株式会社

2025
1.18(土)

第
3
弾

『若手農業者団体』との交流で
『農業と農村地域のこれから』を考える

@ 一般社団法人
Fam Lab 8

2025
2.12(水)

2024年度の実組として
上記イベントを
実施しました！

(イベントは全て終了しています)

九州農政局公式Instagram



maff_kyushu

フォロー

メッセージ

...

投稿145件

フォロワー939人

フォロー中111人

九州農政局

政府機関

農林水産省九州農政局の公式アカウントです。

環境に配慮した農業に関する情報などをお届けします！

取扱店から農家さんの取り組みやおすすめのレシピを紹介！

▼公式ウェブサイト

@ www.maff.go.jp/kyusyu/nabi/social_media_index.html + 3



農林水産省や
九州農政局の取組

現場の情報

九州農政局チャレンジチームの活動

情報発信中！

続きはこちら！



発行・編集

九州農政局チャレンジチーム

お問い合わせ

〒860-8527

熊本市西区春日 2 丁目10番 1 号 熊本地方合同庁舎 A 棟

TEL : 096-211-9111 (代表)

HP : <https://www.maff.go.jp/kyusyu/index.html>

やさしい
たべもの

環境にやさしい農産物ガイドブック

農林水産省
九州農政局